



# 57期 環境経営レポート

(2021年5月1日～2022年4月30日)

2022年5月20日発行

マツダオートザム福山南  
北村自動車株式会社

# 目次

表紙	1ページ
目次	2ページ
1 事業活動の概要	3ページ
2 環境経営方針	4ページ
3 環境経営目標	5ページ
4 環境経営活動計画	6ページ
5 環境経営活動の取組結果の評価	7ページ
6 環境関連法規への遵守状況、違反・訴訟の有無	8ページ
7 代表者による全体の評価と見直しの結果	8ページ

# 1 事業活動の概要

## 1. 事業者名及び代表者

マツダオートザム福山南  
北村自動車株式会社  
代表取締役 北村 太郎

## 2. 所在地

広島県福山市曙町四丁目8番28号  
084-954-7770



## 3. 事業内容

新車販売  
中古自動車販売  
部品・用品の販売  
自動車整備  
保険代理店業務

## 4. 事業の規模

従業員数	25 人
年間売上高	794百 万円
年間販売台数	269 台
年間整備入庫台数	8,003 台

## 5. 対象範囲

- ・対象事業所 本社(マツダオートザム福山南)、駐車場
- ・対象活動範囲  
新車販売  
中古自動車販売  
部品・用品の販売  
自動車整備  
保険代理店業務

## 6. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 常務取締役 水田 誠

担当者 総務部 小笠原 華

## 2 環境経営方針

### 企業理念

私たちは、地域社会に感謝の心を忘れず、常に貢献します。

私たちは、係わるすべての人が、より幸せになるために行動します。

私たちは、誇れる自分になり、明るく、楽しく、協力して働きます。

### 環境経営理念

環境経営問題は、自動車販売、整備に携わる事業者として重要課題です。環境にやさしい自動車の販売、エコ整備の普及・促進を通じて燃費の向上による排出ガスの清浄化、リサイクル部品の積極的な活用による資源の有効利用を行い社会に貢献します。また、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の削減に取り組めます。

### 行動指針

- 1 環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
- 2 資源の有効活用のため、廃棄物の分別廃棄、リサイクル回収及びリサイクルパーツの活用に努めます。
- 3 自動車販売業務において、燃料消費効率のよい車種の販売に努めます。
- 4 当社の事業活動において、環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
  - ① 自社での電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ② 燃料使用量の削減
  - ③ 水源有効活用のための節水
  - ④ お客様の自動車環境性能、及び安全性維持のための定期点検の促進
- 5 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 6 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

2021年5月1日 改定

マツダオートザム福山南  
北村自動車株式会社

代表取締役 北村太郎

### 3 環境経営目標

#### 2. 環境経営目標

項目	単位	2019年度実績 (基準年度)	目標		
			2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	105,436	104,382 △1%	103,327 △2%	102,273 △3%
電力使用量 (削減率)	kWh	88,225	87,343 △1%	86,461 △2%	85,578 △3%
ガソリン使用量 (削減率)	L	11,545	11,430 △1%	11,314 △2%	11,199 △3%
軽油使用量 (削減率)	L	6,173	6,111 △1%	6,050 △2%	5,988 △3%
産業廃棄物排出量 (削減率)	t	12.5	12.44 △1%	12.38 △2%	12.31 △3%
水使用量 (削減率)	m <sup>3</sup>	637	634 △0.5%	631 △1%	627 △1.5%
エコカー販売 (増加率)	台	195	201 △0.5%	205 △1%	209 △1.5%
車検入庫 (増加率)	台	897	924 +3%	942 +5%	960 +7%
点検入庫 (増加率)	台	694	715 +3%	729 +5%	743 +7%
電力調節後排出係数 (エネオス株式会社)	kg-CO2/kWh	0.691	—	—	—

## 4 環境経営活動計画

### 1. 産業廃棄物排出量の削減とリサイクルパーツの活用

ごみの分別をする  
段ボールの再使用(業者に返却)  
リサイクルパーツの使用(20個)  
Web約款の推奨

### 2. エコカー販売

スカイアクティブ搭載車やエコカー軽自動車の販売に努める  
積極的にエコカー見積もりを勧める(30件以上)  
エコカーの試乗を勧める(20件)

### 3. 電気とガソリン・軽油使用量の削減

- 1) 電力使用量の削減
  - 帰る前にPCの電源を切る
  - 事務所の温度設定を冷房28度、暖房を20度にする
  - 西日対策としてブラインドを下げる
  - 節電スローガンを決めて掲示する
- 2) ガソリン使用量の削減
  - 代車の満タン貸出、満タン返しを励行する
  - 代車のガソリン量の計測
- 3) 軽油使用量の削減
  - 代車の満タン貸出、満タン返しを励行する
  - 代車の軽油量の計測

### 4. 水使用量の削減

水道メータの確認・記録(漏水チェック)  
節水スローガンを決めて掲示する

### 5. 環境汚染防止整備(定期点検)の促進

車検入庫促進  
オイル交換時の空気圧チェック100%  
エコバッテリーの推奨20個/月以上  
点検入庫促進



## 5 環境経営活動の取組結果の評価

### 1. 2021年度運用期間の実績

項目	単位	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	103,327	85,449	○
産業廃棄物排出量	t	12.38	8	○
エコカー販売	台	205	150	×
電力使用量	kWh	86,461	85,098	○
ガソリン使用量	L	11,314	12,841	×
軽油使用量	L	6,050	5,309	○
水使用量	m <sup>3</sup>	631	549	○
車検入庫	台	924	894	×
点検入庫	台	729	658	×

### 2. 取組結果の評価及び次年度の取組み内容

#### 1、産業廃棄物排出量の削減とリサイクルパーツの活用

販売台数、車検点検整備の入庫数が伸びなかったため目標は達成した。  
次年度も引き続き、産業廃棄物の削減に努める。

#### 2、エコカー販売

エコカーの販売は目標に達成しなかった。  
次年度も引き続き、エコカーの販売に努める。

#### 3、電気とガソリン・軽油使用量の削減

夏場、冬場ともに節電を心がけ、目標を達成することができた。

次年度も引き続き、電気の使用の削減に努める。

軽油の使用量は販売台数、車検点検整備の入庫数が伸びなかったため目標は達成した。

次年度も引き続き、ガソリンと軽油の削減に努める。

#### 4、水使用量の削減

販売台数、車検点検整備の入庫数が伸びなかったため目標は達成した。

次年度も引き続き、節水を徹底する。

#### 5、環境汚染防止整備(定期点検)の促進

点検、車検整備は目標に達成しなかった。

次年度も引き続き、点検入庫促進に努める。

## 6 環境関連法規への遵守状況、違反・訴訟の有無

### 1. 環境関連法規への遵守状況

適応される主な環境関連法規について調査した結果、遵守できていた。

### 2. 違反・訴訟の有無

定期的遵守評価の結果、環境関連法規の違反はなかった。

なお、関係当局よりの違反の指摘や訴訟は過去10年間なかった。

## 7 代表者による全体の評価と見直しの結果

- ・ 二酸化炭素の排出や産業廃棄物排出量などで目標を達成するなど大きな成果があった。目標達成のための諸活動は定着してきているが、エコカー販売や車検、点検整備などで大きく目標達成できていない項目もあるので、環境方針、環境目標、活動計画などは変更せず、これまでの取組みを徹底するとともに、状況確認、データ収集に努めることにした。
- ・ 保管書類のデータ化、整理整頓で無駄を省き、ペーパーレス化を図っている。今後も取り組めるところからペーパーレス化に取り組んでいきたい。